

# 今後の安全・安心科学技術及び社会連携委員会の取組

資料3  
科学技術・学術審議会 研究計画・評価分科会  
安全・安心科学技術及び社会連携委員会  
(第7回) H27. 4. 14

## 背景

- 現代社会において、個人生活などにも科学技術の発展の影響を正と負の両面を受ける状況にあり、社会から科学技術へのアプローチが必要
- 国民がリスクに適切に対処するため、リスクに関する知識を共有し、意識の向上を図ることが必要
- 研究開発成果を社会的課題解決に有効に活用するため、研究課題を設定する段階で、社会的ニーズを適切に反映するための取組が必要
- 我々を脅かすリスクは多様化、複雑化、様々なリスクから社会の安全・安心を守り、リスクに対して「強しなやかな社会」を構築することが必要

## 検討内容

### 社会と科学技術イノベーションとの関係深化に関わる推進方策の検討

現代社会において、社会の活動(営み)も個人活動(営み)も、ますます科学技術の成果に依存し、その発展の影響を正と負の両面において強く受けるようになり、社会と科学技術との相互作用は強まっている。このような状況を踏まえ、社会と科学技術イノベーションとの関係深化に関する取り巻く状況及び課題を整理し、必要な推進方策の検討を行う。

#### リスクコミュニケーションの推進方策のフォローアップ

リスクコミュニケーションのモデル形成事業の進捗状況等を踏まえ、適宜、「リスクコミュニケーションの推進方策」のフォローアップを行う。

#### 安全・安心科学技術に関するフォローアップ

安全・安心科学技術に関するプログラムの進捗状況等を踏まえ、適宜、フォローアップを行う。